



第1回 これであなともお片づけ上手！ 親子で収納大作戦

【日 時】 平成29年5月13日(土) 10時~12時
【場 所】 吉敷地域交流センター 講堂
【講 師】 整理収納アドバイザー 三浦 育美 氏
【受講生】 大人19人 子ども23人(小学生)

実施報告



いまは大人でも10人のうち多いと8人くらいの人
が『お片づけ』が苦手と言われる時代です。
子どもたちは毎日のように「片付けなさい。」「片付けないと捨てるよ。」
とされているのではないのでしょうか。
保護者の方の多くが「お片づけができる人になってほしい」と考え
られているのがよく分かります。

片付けについて

片づけに大切なことはなにか分かりますか？

それは自分で考えて決めること。なにより1番は、**元気であること**。
疲れているときに「片付けよう！」とは思えないですね。

●片づけのメリットとデメリット

♡ メリット ♡

- 探し物がすぐにみつかる
- 忘れ物が少ない
- 物がなくならない
- 友達をすぐに家に呼べる
- すぐに準備ができる
- 怒られない
- きもちがよい
- 足りないものに気づく
- 壊れているものに気づく

💔 デメリット 💔

- 探し物がなかなか見つからない
- 忘れ物をしやすい
- 物を失くしやすい
- 友達を家に呼べない
- 準備に時間がかかる
- 怒られる
- いらいらする
- 物の状態を把握できない

などなど

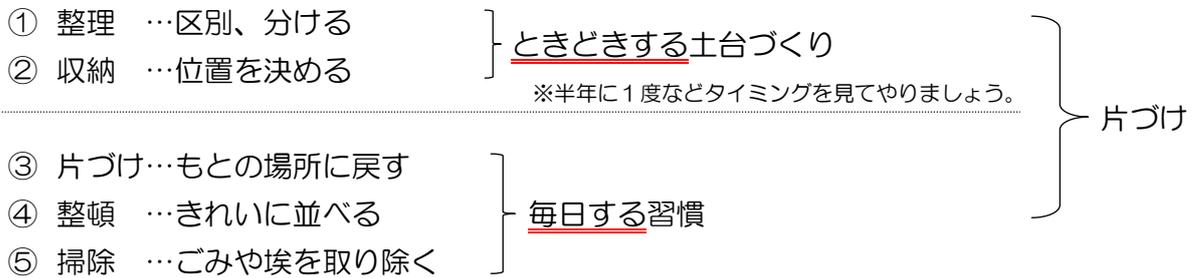


片づけることで**いろんなことがスムーズ**に進み、いいことがたくさんあります。

片付けの意味

『片付け』とひとことで言っても、実は5種類に分けることができます。

片づけは順番も大切です。「元の場所に戻して。」など具体的に伝えてあげれば次に何をすればよいのか分かり行動に移しやすいのです。



※毎日繰り返していれば、掃除も上達します。

※子どもだけで続けるのは難しいので、保護者の協力も必要です。

●土台づくりのやり方

- 片づける場所の中身を全部出す（初めは筆箱などの小さな場所から）
- その場所をきれいにする
- 要る、要らないで分ける…①整理
- 減らせるものは減らす（売る、あげる、捨てる）
- 位置を決めてしまう…②収納
- ※最初はその場所に戻すだけでもOK。 慣れてきたら仕切りを作るなどの工夫を！
- できる人は入りきらなかったものを減らす

上から順番にやってみよう！



●整理の例

筆記用具の場合



- 鉛筆、シャーペン、ボールペン、サインペン、色鉛筆、蛍光ペン、定規やはさみ
- 鉛筆類（鉛筆・色鉛筆）、ペン類（シャーペンなど）、その他
- 黒インク（鉛筆・シャーペン含む）、色つきインク、道具
- よく書ける（使える）もの、あまり書けない（使えない）もの
- よく使うもの、あまり使わないもの

…などの分け方がある。

※自分の使いやすい・分かりやすい分け方をしましょう。

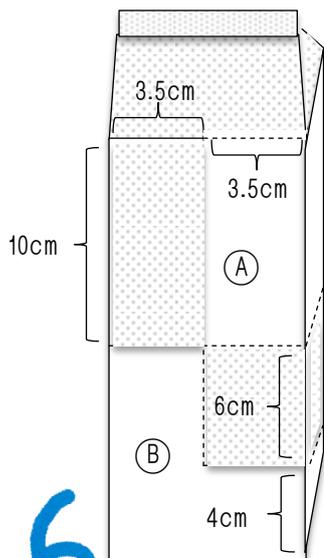


牛乳パックの鉛筆立て

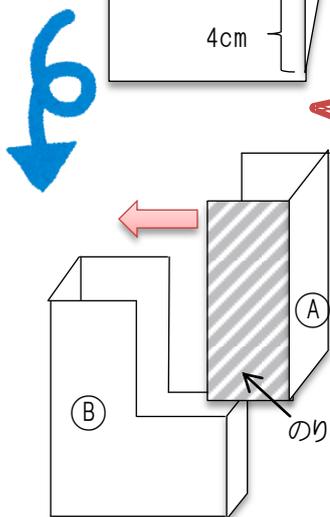
家にある牛乳パックで、簡単な鉛筆立てを作しましょう。
これなら、消しゴムやクリップもなくなりません。

用意するもの

牛乳パック、はさみ、カッター、下敷き用の新聞紙
マーカー、定規、両面テープ



- ① 定規で長さを測り、マーカーで線を引き、右図の点線部分をカッターとはさみで切る。
- ② AとBを組み合わせ、両面テープでとめる。
- ③ 色紙やマスキングテープなどを使い、自分だけの鉛筆立てにする。



のりしろ(両面テープを貼ろう)

鉛筆・はさみ・定規など大きいもの



クリップ・消しゴム・ふせんなど小さいもの

三浦先生からメッセージ

☆お片づけをするといいいことがたくさんあります。

☆『片づけ』にはいくつも意味があり、順番があります。そこを考えて片付けましょう。

☆「片づけなさい。」と言うのはぐっと我慢して、「元の場所に戻して。」など具体的に伝えましょう。

☆物を買すぎないように気を付けましょう。

☆3R（リデュース：減らす・リユース：繰り返し・リサイクル：再資源化）でごみを減らし、地球を守りましょう。

講座の様子から

1年生から保護者の方まで参加されていましたが、みなさん熱心にメモを取りながら話を聞いていらっしゃいました。

「お片づけしないとどうなると思う？」などの質問に、さっと手を挙げて答えている子もいらっしゃいました。

後半の筆箱のお片づけや鉛筆立てづくりでは、真剣に作業をされていました。作業中には、あちらこちらから「鉛筆みじかい！」「これどうやるの？」「できたよ！」などの声が聞こえてきて、とても楽しい講座になったと思います。

アンケートにもたくさんの感想が寄せられました。



受講生の方からの

ご意見・ご感想

一部
ご紹介

☆子どもに『片づける』という考え方をなかなかうまく伝えることが出来ませんでした。一緒に講座を受講することで、伝わったかな…。伝わっていることを願います。

さっそく子どものお道具箱の整理をやってみようと思いました。ついつい「片付けなさい。」と言いたくなりますが、言わないで生活が出来るように、整理・収納で子どもが片づけやすい工夫について考えようと思います。

☆大変参考になりました。ありがとうございました。

☆一言で『片づけ』と言っても、5つのことがあることを知りました。子どもにはまだまだ難しいところもあるので、親子一緒に取り組みたいです。楽しかったです！

☆前半のお話はとても勉強になりました。全部とは言いませんが、お話の一部でも子どもの頭に入っているといいなと思います。

後半の工作は子どもが大好きなので、とても喜んでいました。親子で楽しめて勉強になる講座に参加できてよかったです。

☆これを機会に、子どもが身の回りの片づけに関して意識が変わったらうれしいです。

☆『片づける』ことを楽しく学ぶことができました。今日の講座を参考にして家の中をきれいに保ちたいです。

☆子どもにも分かりやすい内容でよかったです。子どもと一緒に私も片づけ上手になれるように頑張ります。

☆子どもが真剣に先生のお話を聴いていました。お話の内容もよく理解できたようで、かつ楽しそうでした。ありがとうございました。

御協力ありがとうございました

